

関係各位

2024年6月26日

株式会社パテント・リザルト

【自動車部品】他社牽制力ランキング 2023

トップ3はデンソー、アイシン、日立ASTEMO

弊社はこのほど「自動車部品業界」の特許を対象に、2023年の特許審査過程において他社特許への拒絶理由として引用された特許件数を企業別※に集計した「自動車部品業界 他社牽制力ランキング 2023」をまとめました。

この集計により、直近の技術開発において競合他社が権利化する上で、阻害要因となる先行技術を多数保有している先進的な企業が明らかになります。

集計の結果、2023年に最も引用された企業は、1位 **デンソー**、2位 **アイシン**、3位 **日立ASTEMO**となりました。

【自動車部品業界 他社牽制力ランキング 2023 上位10社】

順位	企業名	引用された特許数
1位	デンソー	5,035
2位	アイシン	1,648
3位	日立ASTEMO	1,247
4位	住友電装	1,071
5位	矢崎総業	892
6位	ジェイテクト	723
7位	SOKEN	421
8位	豊田合成	418
9位	トヨタ紡織	367
10位	ROBERT BOSCH (独)	341

※ 当ランキングは、企業グループを考慮した名寄せ処理を用いて算出しています。

【ランキングの集計対象について】

日本特許庁に特許出願され、2023年12月までに公開された全特許のうち、2023年1月～12月末の期間に拒絶理由（拒絶理由通知または拒絶査定）として引用された特許を対象に、抽出・集計を行っています。

また本ランキングでは、権利移転を反映した集計を行っています。2024年5月時点で権利を保有している企業の名義でランキングしているため、出願時と企業名が異なる可能性があります。

なお各企業の業種につきましては、総務省の日本標準産業分類等を参考に分類しています。

1位 **デンソー**の最も引用された特許は「良品と欠陥品の識別を行う外観検査装置用の高精度な変換データ生成」に関する技術で、オムロンや清水建設などの計7件の審査過程で引用されています。このほかには「距離測定装置及び距離測定方法」に関する技術が引用された件数の多い特許として挙げられ、HIMAX TECHNOLOGIES(台)などの計6件の拒絶理由として引用されています。

2023年に、デンソーの特許によって影響を受けた件数が最も多い企業はトヨタ自動車(395件)、次いで三菱電機(174件)となっています。

2位 **アイシン**の最も引用された特許は「運転者と利用者が異なる場合でも目的地案内の引き継ぎが可能な車両用の経路案内システム」に関する技術で、本田技研工業の計4件の審査過程で引用されています。このほか「モータの製造方法およびモータコア」に関する技術が引用された件数の多い特許として挙げられ、日本製鉄などの計4件の拒絶理由として引用されています。

2023年に、アイシンの特許によって影響を受けた件数が最も多い企業はトヨタ自動車(128件)、次いでデンソー(88件)です。

3位 **日立ASTEMO**の最も引用された特許は「複数の移動体の位置や動きを予測して、自車両の衝突回避制御を行う交差点右左折支援システム」に関する技術で、マツダなど計6件の審査過程において拒絶理由として引用されています。

2023年に、日立ASTEMOの特許により影響を受けた件数が最も多い企業はデンソー(112件)、次いでトヨタ自動車(83件)となっています。

4位 **住友電装**は「同軸コネクタ」、5位 **矢崎総業**は、トヨタ自動車と共同出願の「車両の内装パネルに組み込まれる表示装置」が、最も引用された特許として挙げられます。

* * *

また弊社では、ランキングデータを下記の通り販売しています。

【自動車部品業界 他社牽制力ランキング 2023データ】

▶納品形態：以下のデータを収録したエクセルファイルをメールで御納品※

(※データー式を収録したCD-Rでの御納品をご希望の場合はご相談ください)

- ・ランキング トップ50社：本業界の被引用件数上位50社のランキング
- ・被引用件数 トップ100件：本業界の被引用件数上位100特許、及び引用先の特許との対応

▶価格：50,000円(税抜)

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社パテント・リザルト 事業本部 営業グループ

URL : <https://www.patentresult.co.jp/>

e-mail : info@patentresult.co.jp